

検討の前提

- 自動運転システムは、下記を満たすものである
 - ODD内では、自動車を運行する者の操縦に係る認知、予測、判断及び操作の能力の全部を代替する
 - ODD外となる場合やシステムが正常に作動しないおそれがある場合等にも、適法かつ安全な対応をとる
- ODD外については、従来の「運転者」が存在する場合のルールで対応する
- 自動運転車と非自動運転車が混在することを想定する

検討の視点

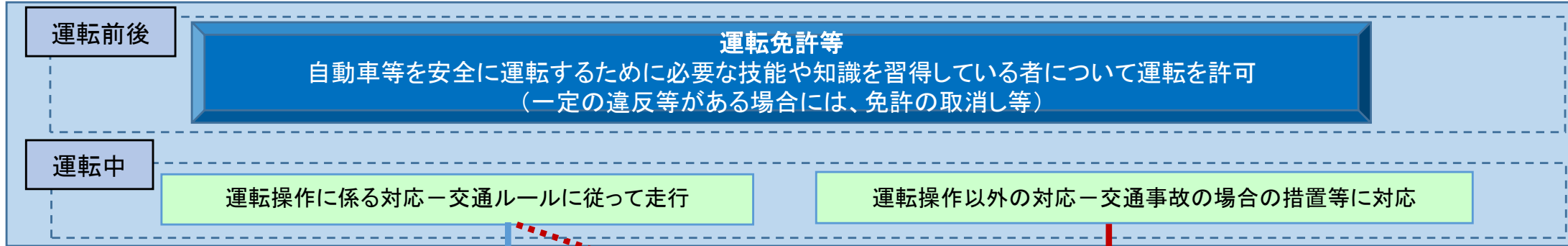
- システムによる操作や人間による関与等の組合せにより、従来と同等以上の安全性を確保する
- 国際的な議論や技術開発の進展等にも留意して検討する

検討の内容

- レベル4の自動運転(従来の「運転者」の存在を前提としない)に関するルールや担保の仕組みについて検討する
- システムによる自動的な対応が期待できない場合(交通事故の場合の措置等)の対応方策等について検討する

検討の内容

現在の枠組み(運転者の存在が前提)



レベル4(運転者の存在を前提としない)

